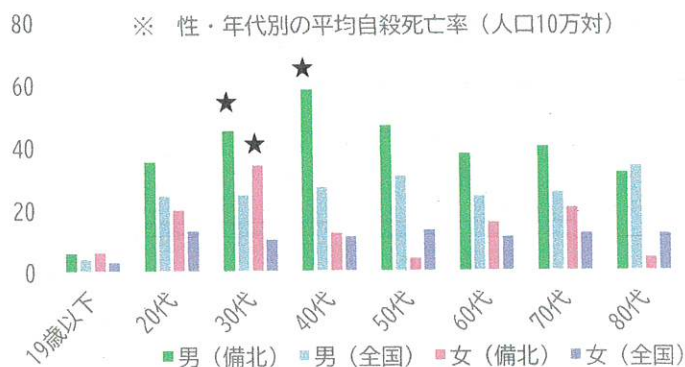


令和7年度自殺対策関係者研修会

自殺を防ぐためにできること ～相談対応スキルや連携、支援者のセルフケアについて～

備北圏域の自殺死亡率は全国及び県より高く、働く世代や子育て世代の平均自殺死亡率が高い※現状があります。自殺を防ぐためには、自ら命を絶ちたくなる思いの背景にある様々な問題に寄り添い、地域の関係者が連携して支援する必要があります。

そこで、自殺を防ぐために必要な相談対応スキルと支援者のセルフケアについて学ぶことを目的として研修会を開催します。対象者への寄り添い方や支援者自身のメンタルヘルスの維持増進について、一緒に学んでみませんか。



データ元：地域自殺実態プロファイル 2024（広島県備北医療圏）

日時

令和7年 11月26日（水）13時30分～15時

ハイブリット開催

講師

三次病院 認定専門公認心理師・臨床心理士 諏訪 容子 先生

対象

圏域の精神保健福祉に関する相談業務従事者 等

受講
方法

対面：広島県三次庁舎第3庁舎 601 会議室（三次市十日市東四丁目6-1）
オンライン：Zoom

申込
方法

別紙申込書またはメール本文に必要事項を記載の上、メールまたは
FAX でお申し込みください。
申込期限：令和7年10月22日（水）

問合
わせ

広島県北部保健所保健課（備北地域保健対策協議会事務局）
電 話：0824-63-5185（直通）

主催：備北地域保健対策協議会